



2026年月6月17日

各 位

会社名	株式会社雨風太陽	
代表者名	代表取締役社長	高橋 博之
	(コード番号：5616 東証グロース市場)	
問合せ先	コーポレート本部長	榆金 和哉
		(TEL.03-6278-7890)

「ポケマルおやこ地方留学」2026年夏プログラムの販売再開及び規模縮小に関するお知らせ

当社が展開する「ポケマルおやこ地方留学」につきまして、当社が配信しましたSNS広告へのご指摘を契機に判明した安全管理体制の不備に伴い、2026年夏プログラム申込みの新規受付けを一時的に全面停止し、緊急安全点検を実施しておりました。

この度、安全点検の完了及び改善措置を講じましたため、2026年夏プログラムの販売再開及び規模縮小につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

本件につきまして、株主・投資家の皆様をはじめ、関係する多くの皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 背景とこれまでの経緯

当社は、関係人口の創出に向け、地方での子どもの学びと親のリモートワークを両立する「ポケマルおやこ地方留学」を2022年より提供してまいりました。しかしながら、2026年4月に当社が配信しましたSNS広告において、農業用トラクターのローダー部分に体験参加中の子どもが乗った写真・動画を使用しており、当該行為が危険であるとのご指摘をいただきました。

当該広告内容を調査した結果、広告への掲載にとどまらず、2024年夏・2025年夏のプログラムにおいて実際に体験アクティビティとして当該行為を実施していたことが確認されました。本行為は、農機具メーカーのマニュアルにおいても禁止されている行為であり、安全管理上問題のある内容でした。

さらに、社内で調査を進める中で、体験アクティビティに関する安全基準が曖昧であり、社内のチェック体制が不十分であることが原因であるとの結論に至り、安全管理の仕組み自体を見直す必要があると考え、新規受付けを一時的に全面停止した上で、緊急安全点検を実施してまいりました。

2. 安全点検の結果と改善措置について

今回の安全点検として、外部専門家の指導助言のもとでリスク項目の網羅性を担保し、全ての生産者・現地運営パートナーと連携し、すべての体験コンテンツについて、「安全面」と「法令面」の2つの観点から「チェック体制」にも留意しつつ詳細な点検を行い、以下の改善措置を講じました。

1) 安全管理基準の整備

安全上のリスクの観点から、農業機械（トラクター等）の目的外使用の禁止をはじめ、天候・波の高さ等の現場状況に応じた確認手順の標準化など、約40項目を洗い出し、リスク評価を行いました。洗い出した全リスク項目につきましては、現在新たな安全基準及び運用マニュアルの策定を進めております。今夏のプログラム開始までに全スタッフへの研修を通じて安全管理体制の構築を完了させ、リスク低減を図ります。

2) 法令適合確認の実施

体験プログラムの実施に際して遵守すべき旅行業法・食品衛生法等の約20の各種法令の遵守項目を洗い出し、その観点に照らした確認を全地域で実施し、適合性を確認しました。

3) 社内チェック体制の強化

これまで担当部署内のみで行っていた安全確認に加え、事業部門から独立した管理部門を安全確認の担当者としてアサインし、独立した視点からチェックを実施する体制を整え、上記1),2)のレビューを行いました。

4) 開催旅程数（地域数・旅程数）の縮小

弊社の運営体制を踏まえて、この夏の開催旅程数を減少することとし、全ての地域の第1クール（7月19日から7月25日）の募集を見送ることといたしました。また、長野、福岡エリアの全開催を見送り、全7地域を全4クールで募集することで決定いたしました。

3. 2026年夏プログラムの販売再開及び規模縮小について

上記のとおり、新たな安全管理基準の徹底、法令順守及び社内チェック体制の強化を担保するため、2026年夏プログラムについては、当初予定していた開催規模を縮小した上で、本日より販売を再開いたします。

1) 一部の地域及び旅程の募集見送り

確実な安全管理体制の構築に時間を要する一部の地域、及び準備期間の短い初期の旅程（全地域の第1クール：7月19日から7月25日）については、今夏の募集を見送ることといたしました。

区分	対象地域・旅程
販売見送り地域	長野、福岡（全クール）
販売見送り旅程	全地域の第1クール（7月19日から7月25日）

2) 販売再開対象地域

安全管理体制を担保できる以下の地域の第2クール（7月26日から8月1日）から第5クール（8月16日から8月22日）につきましては、本日より、全ての地域の新規申込の受付を再開いたします。

区分	対象地域
販売再開地域	北海道（道南）、青森、岩手、千葉（銚子）、和歌山、広島（瀬戸内）、長崎

4. 今後の見通し

本件に伴う販売期間の短縮及び一部地域・旅程の募集見送りに伴い、2026年12月期の個人向けサービス（旅行事業）の売上高に一定の影響が見込まれます。しかしながら、現時点において、2026年5月15日に公表いたしました2026年12月期通期業績予想を修正するほどの重大な影響には至らない見通しです。

今後、夏プログラムの実際の申込動向を精査し、通期業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

当社は、サービスの根幹である「安心・安全」の確保に全力を注ぐとともに、お客様に信頼され選ばれる地域体験プログラムの提供を通じて、関係人口の創出に貢献してまいります。

以上